

芦別市長

萩原 貢



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、外出規制が解かれ、芦別の一大行事である「星の降る里・芦別健夏まつり」や「キラキラ☆フェスタあしべつ」をはじめ、各種イベントが再開し、市民の皆様や本市を訪れる

春 ご挨拶

る方々がイベントを楽しまれ、笑顔あふれる姿をたくさん拝見できるなど、まちに活気や活力が戻りつつある喜ばしい一年でありました。

また、滝川地区広域消防事務組合・芦別消防団が7月の「北海道消防操法大会」小型ポンプ操法の部で、出場12チームの最高得点で見事優勝を果たされましたことに加え、芦別130周年・市制施行70周年の記念すべき年として、NHKのご自慢をはじめとした各種記念事業や記念式典を盛会裡に終えることができ、開催にあたりご協力いただいた関係者の皆様並びに、ご参加いただいた多くの市民の皆様から感謝申し上げます。

一方、開業以来75年の長きにわたる営業を続けてこられた市内の大手スーパーが、3月末で閉店されることとなったほか、7月には、三段滝付近の国道452号でオートバイの単独事故により、令和元年6月22日以降続いていた市内での交通事故死ゼロの日が1491日でストップする痛ましい出来事があり、また、基幹産業の農業においては、夏の例年になく猛暑から農作物の高温障害に加え、昨年来の肥料や生産資材・エネルギー等の物価高騰により、厳しい営農環境におかれたところでもありました。

市政におきましては、市総合庁舎の

整備と新浄水場の整備が令和11年度に重なることを解消するため、市民の皆様が安全・安心に生活していただくためのライフラインたる新浄水場の整備を優先し、総合庁舎の整備を一旦先送りする苦渋の決断をしたところです。

また、国や北海道との一体的な取り組みから本市においても、脱炭素化の推進を加速させるため「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、各公共施設や街路灯、公園灯のLED化を中心に進めているほか、市のB&G海洋センターのリニューアルや、道の駅スタープラザ芦別敷地内に、年齢や障がいの有無に関わらずすべての子どもたちが安心して遊ぶことができるインクルーシブ（包括的）遊具を含む大型複合遊具の設置や、滝里湖オートキャンプ場にフリーWi-Fiを設置し、多くのかたに安心して快適に利用いただけるよう環境整備に努めるとともに、子育て支援事業の一環として、小学生の学校給食費の無償化の実施や、運転に不安を覚える高齢運転者のかた等が免許を自主的に返納しやすい環境づくりのため、高齢者等運転免許証自主返納支援制度を策定したほか、長引くエネルギー・食料品の価格等物価高騰の影響対策として全市民への商品券発行事業や非課税世帯への支援金給付等を実施してきたところです。

迎えました本年は、私の市長として

の任期が2期目の最終年となり、また、第6次総合計画の中間年となることから、計画後半への折り返しに向けて、目指すまちの将来像である「みんなで築く、豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」の実現に向け、市民の皆様をはじめ団体、企業、行政などが連携し、一体となつて着実に進めてまいります。現下の人口減少や少子高齢化の進展に加え、近年の気候変動に伴う激甚化する自然災害、加速化するデジタル技術や前例のないウィズコロナ、アフターコロナ時代への対応、脱炭素化社会への取り組み等、様々な課題に直面しており、一つ一つ真剣に向き合い、市民の皆様が未来に希望をもつて安心して暮らし、住み続けたいと思えるよう、なお一層力を尽くしてまいります。

結びに、今年一年が皆様にとりまして、ご健康で希望にあふれる年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

教育委員会

教育長 福島 修史

市立芦別病院

事業管理者

羽根田 俊

監査委員

岩花 永喜
田森 良隆

迎 年頭の

新年明けましておめでとうござい
ます。

市民の皆様におかれましては、お健
やかに新年をお迎えのことと、心より
お慶び申し上げます。

昨年4月の統一地方選挙により、11
名の議員が市民の皆様から負託を受け
ました。

また、私が議長に就任して、早くも
8か月が経過し、その責任の重さを改
めて痛感するとともに、市政発展のた
めにより一層、努力してまいりたいと



芦別市議会議長

北村 真

の思いを新たにしているところでござ
います。

昨年を振り返りますと、5月8日か
ら新型コロナウイルスの感染症法上の
位置づけが2類から5類に変更され、
コロナ禍前のような人々の動きが活発
になりましたが、日本経済におきまし
ては、国際的な原材料価格が上昇する
中、世界的に新型コロナウイルスの落
ち着きにより経済が回復するにつれ、
物やサービスの需要が大きくなり、原
油高や長期にわたる円安によつて、先
が見えない物価上昇が続いており、私
たちの生活は厳しい状況が続いており
ます。

また、異常気象により長期間にわ
たつて猛暑が続き、世界各地でも深刻
な熱波や高温に見舞われ「地球温暖化
の時代は終了し、地球沸騰の時代が到
来した」と報道がされておりました。

本市においてもエアコンの必要性を
感じた年であり、12月市議会(定例会)
において、早期に各小中学校にエアコ
ンを設置するための補正予算が可決さ
れ、また、公共施設にエアコンを整備
することとなりました。

本市におきましては、芦別130周
年・市制施行70周年という節目の年で
ありました。

記念事業としてNHKのご自慢など
多くの記念事業が開催され、コロナ禍
で中止となつておりました「星の降る

里・芦別健夏まつり」、「キラキラ☆フェ
スタあしべつ」などの各種イベントが
再開されるなど、まさに賑わいが戻っ
てきたところであります。

市政におきましては、新総合庁舎、
芦別浄水場の建設について議会におい
て議論してまいりましたが、12月12日
に開催されました新総合庁舎整備特別
委員会において、荻原市長から浄水場
の整備を優先し、新総合庁舎の整備を
先送りするという旨の報告があり、市
議会としましては、荻原市長の苦渋の
決断を尊重することとしたところであ
ります。

明けた本年は、国が進めています総
合経済対策事業により、私たちの生活
が良くなることを期待するところであ
り、夏にはパリでオリンピックが開催
されますので、日本人選手の皆さんが
私たちに夢や希望、感動を与えてくれ
るような活躍を楽しみにしているところ
であります。

また、市政において大きな責任を有
する私ども市議会は、人口減少や少子
高齢化など、先のない経済情勢で
はありますが、市民の皆様お一人おひ
とりが「住んでよかった」と実感でき
るようなまちづくりを目指し、市民皆
様の負託に応えるべくより一層の自己
研さん、自己改革に努め、市民の皆様
の生活を守るため山積する重要課題の
解決に向けて取り組んでまいります所存で

| | | |
|-------------|-----|-------|
| 農業委員会 | 会長 | 北野 俊之 |
| 公平委員会 | 委員長 | 荒木 英理 |
| 固定資産評価審査委員会 | 委員長 | 大西 俊夫 |
| 芦別市消防団 | 団長 | 高砂 裕司 |
| 芦別市議会 | 副議長 | 石川 洋一 |
| | 議員 | 松尾 達矢 |
| | | 清澤 茂宏 |
| | | 竹内 真 |
| | | 林 伸樹 |
| | | 新村 充 |
| | | 大鎌 光純 |
| | | 田森 良隆 |
| | | 松井 邦男 |
| | | 若松 市政 |



ありますので、市民の皆様の市議会へ
の変わらぬご理解とご支援をお願いい
たします。

結びに、皆様にとりまして、本年が
ご健勝ですばらしい年になりますよ
う、心からご祈念申し上げます、新
年のごあいさつといたします。